

前 CIA 職員：「あなたの敵の話を聞け」

【訳者注】 国家機関である CIA に勤務することが、どれほど不幸なことだろうか。良心に反する行動をして愛国者と言われる。かつてここで、ある CIA 職員が、拷問をめぐって内部で対立し、退職時にもらった、名を刻んだ功労賞メダルを叩きつけて返し、どうか名前を削って処分してほしいと言った人の話を、翻訳紹介した。この人に対して、年金が与えられないようにする措置が取られたという、「卑劣」の見本のような落ちまでついていた。2014/12/17「拷問をめぐって対面する 2 人の激突——元 CIA 高官の手記」（ついでながら、この「卑劣」が、米帝国主義の伝統的な、最大の特徴である。）

この話は聞いて痛快だが、以下に紹介する退職女性 CIA 職員の話はそうでもない。いわば真理への目覚めの途上にある人の説教のようだ。これを紹介する気になったのは、付記するある読者のコメントが正直で的確で、おそらく、この告白を聞く者すべての感想を代弁するからである。短評の手本というべきである。このような的確な短評が多いのは、このサイトが信頼される一因であろう。

Cavan Sieczkowski

July 3, 2016

Amaryllis Fox は、いまだ彼女の CIA の衣を脱ぎ捨てる途上にある。

アマリリス・フォックスは、作家、平和運動家、かつて「CIA 秘密工作部」(Clandestine Service) のスパイだった。

最近、彼女は、アルジャジーラの記者と討論を行い、10 年近く隠密に、対テロリズムの仕事をしてきたことから、何を学んだかを話した。

彼女の学んだ教訓は？「敵の話を聞け」

<https://youtu.be/TnEKEfkdrOU> (前 CIA スパイ、アマリリス・フォックスの告白)

もし私が CIA にいた間に教訓を学んだとすれば、それは「誰もが、自分はよい側の人間だと思っている」ということです。

私は CIA の秘密工作部の職員で、ほとんど 10 年間、世界のあらゆる所で、対テロリズムと秘密情報について、隠れて仕事をしていました。

現在、ISIS や海外の米軍について、アメリカで交わされている会話は、今まで以上に単純化されたものになっています。ほとんどのアメリカ人が、ISIS が自分の国にとって現実の脅威かと聞かれたら、「そうだ」と答えるでしょう。そこで会話は止まってしまいます。

もしあなたが、イラクやシリアの通りを歩いていて、誰でもつかまえて、なぜアメリカは爆弾を落とすのか聞けば、「彼らはイスラム教徒に戦争を仕掛けているのだよ」と答えるでしょう。

今度はアメリカを歩いていて、なぜ我々は 9・11 の攻撃を受けたのかと聞くなら、「奴らは我々が自由であるために、我々を憎んでいるのだよ」と、答えるでしょう。

こうした話は、大西洋両側のごく少数の人々のつくり出した話で、彼らは、我々残りの者たちが殺し合いをするように仕向けることによって、莫大な権力と富を蓄えているのです。

アメリカ人として思うのですが、我々の対外政策を調べて問うべきことは、いったい我々は火に油を注いでいるのではないか、ということです。敵を武装解除させる唯一の方法は、彼らの言うことに耳を傾けることです。

彼らの話をちゃんと聞いたら——本当に彼らの話を聞くだけの勇気があるなら——もし、あなたが自分の人生でなく、彼らの人生を生きてきたとしたら、彼らと同じ選択をしたかもしれないと、おそらく思うことでしょう。

あるアルカーイダ兵士が、聞き取り調査のときに、こんなことを言いました。アメリカ人の作るいろんな映画、「インデペンデンス・デイ」「ハンガー・ゲーム」「スター・ウォーズ」といった映画のすべては、小さな、寄せ集めの反乱者の一団がいて、その者たちが、外から来た、すぐれた科学技術をもった侵略者を追い出すために、わずかに利用できる、限られた方法を用いて、最大の力を発揮するという物語になっている。

彼はこう言いました——「あなた方が理解していないことは、我々にとっては、また世界の他の者たちにとっては、あなた方が帝国であり、我々がルークとかハンとかであることだ。あなた方がエイリアンであり、我々がウィル・スミスなのだ。」

しかし本当のことを言うと、どちら側でも、戦場で本当に戦っている人々に、なぜこんな所にいるのかと尋ねると、彼らは「子供たちの将来の希望のため」と答え、ただ個別のやり方は、残酷で不公平だと言います。

そこで、あなたの敵を悪として片づけるのは、より簡単かもしれないが、政策の問題として、彼らの話を聞いてやるのが、驚くべき結果を生むのです。なぜかという、あなたの敵が、人間以下のサイコパスであり、あなたが何をしようと、あなたを攻撃してくるなら、これに解決はありませんが、もし、あなたの敵がある政策であるなら、いかにそれが込み入ったものであろうと、何とか対処が可能なのです。

最も賛成の多いコメント：——

なんとこれは——私は、あなたが到達したこのような理解に、どう反応したらよいか、ちょっとわからない。なるほど、ルーク・スカイウォーカーなどのアナロジーはよいと思うが、この先もつと、そういう蓋を開けていくには、あなたは訓練を続けなければならないと思う。あなたは、まだ何年もかけて、アメリカ至上主義のイデオロギーを克服していかなければならないようだ。とは言っても、覚醒への道をここまで進んだのは、素晴らしいことだ。そこで真理と光への道を、この調子で進んでいけば、あなたはこのような“バランスの取れた”考え方をするのをやめて、あなたの酷い政府の、真の悪なる性質に完全に目覚めるかもしれない。